

留学体験記

アメリカ・IUI(インディアナ大学インディアナポリス)で過ごした 4 か月

JSAF FLAP 留学レポートより

「とても良い楽しい思い出を作ることができ、留学に行って本当に良かったと思います。現地の人と一緒に暮らしたり関わったりしたことで、新たな文化や価値観を知ることができ、視野が広まったと思います。」

留学先	インディアナ大学インディアナポリス IUI(アメリカ・インディアナポリス)語学プログラム
在籍大学	東京経済大学 経済学部 国際経済学科 3 年
留学期間	2024 年 8 月～12 月(4 ヶ月)

※本体験記は派遣生の FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです。

1. 留学の目的

今回の留学の目的は、「英語を聞き取れるようになること」と「海外の友達を作ること」でした。聞き取りはまだ難しいと感じていますが、友達を作ることができました。

2. 語学学校と授業

■ 学校とクラスの概要

項目	内容
学校・コース	IUI 語学プログラム(PIE)
学校の学生数	約 40 名(うち日本人は約 6 名・12%)
クラスの平均人数	約 8 名(クラスに日本人はほぼ 0 名)
クラスメイトの国籍	韓国、中国、サウジアラビア、ベトナム、ハイチ、アンゴラ、ニジェール、コロンビア、アルジェリア、ベネズエラ など
クラスレベル	開始時レベル 3 → 最終レベル 4
教材	先生が毎回教科書をコピーして配布してくれました

■ 授業の内容

面白かった授業(Reading&Writing): パラグラフの書き方や、それを応用したエッセイの書き方を教わりました。しっかりとしたパラグラフやエッセイの書き方は日本で教わったことがなかったので、とても勉強になりましたし、難しかったけれど面白かったです。

苦勞した授業(Listening & Speaking): 英語を話すことがとても難しいので大変でした。原稿を作っても、いざ本番になると話せなくなるので苦勞しました。

アメリカの授業は日本と違って生徒が積極的に発言をしますし、先生もそれに対してしっかりと反応してくれるので、発言しやすくとても雰囲気が良いです。また、アメリカはイベントや記念日をしっかりと祝うので、そういったものがあるときは授業が早く終わったり、授業内でパーティーをしたり、イベントの歴史を学んだりして、とても面白かったです。海外の人はイベントに積極的に参加するので楽しかったです。

担当の先生は3人いましたが、どの先生もみんな優しく、気さくで明るいのでとても関わりやすく、質問もしやすかったです。学校スタッフもとてもいい人ばかりで、何か聞きに行くとすぐに対応してくれ、メールでも対応してくれるので、とても助かりました。

■ がんばったこと

特にがんばったのは Listening & Speaking の授業です。プレゼンテーションをたくさんやったので、英語を話す良い練習になりましたし、人前で発表することに慣れる良い機会になりました。また、グループプレゼンテーションでは、クラスメイトと仲良くなることができました。

3. 語学力の伸びと工夫

スキル	苦勞した点	工夫した点
リスニング	英語は消える音やつながる音が多いので、なかなか聞き取れませんでした。	とにかくインターネットなどで、そういった単語を勉強しました。
スピーキング	とっさに英語が出てこない点に苦勞しました。	いくつかのリアクションの決まり文句を持つておくことや、よく使う表現を知っておくことで、考える時間を稼ぐようにしました。
リーディング	知らない単語が多かったです。	知らない単語が出てきたらその場で調べるか、マークをしておいて後で調べて覚えました。
ライティング	単語は知っていても、正しい使い方や言い回しが難しかったです。	単語の意味だけを調べるのではなく使い方を同時に調べたり、応用の利く言い回しを覚えたりしました。

役立つ教材や勉強方法: インターネットで調べることが一番楽ですが、間違った情報や古い情報も多くあるため、映画などでネイティブの人の言い回しを覚えるか、現地の人に聞くことが良いと思います。

英語力の伸び: 海外旅行ならあまり苦勞しなくなったと思います。来た当初は買い物やレストランなどで毎回苦戦したり、質問の仕方が分からなかったりしましたが、最近はそういったことがなくなってきたからです。

4. 滞在先と生活

■ 滞在先と食事

滞在先はホームステイで、1人部屋でした。通学時間はバスで約30分、通学費は月30ドルほどです。部屋にはベッド、机、クローゼット、トイレ、シャワー、全身鏡、タンス、バスタオルなどが備え付けでありました。

ホストファミリーは今までもたくさんのホームステイを受け入れてきた家庭で、たくさん話しかけてくれる、とてもフレンドリーで良い家族です。これといった厳しいルールもなく、いつ帰っても、何時にシャワーを使っても、何分使っても大丈夫でした。私はホストファミリーに誘われたものには積極的に参加するようにしました。

食事は、朝ごはんは各自で食べ、昼は学校の学食で食べ、夕飯はホストファミリーが用意してくれたものを食べるか、遊びに行ったときは外食していました。

■ 1 週間の過ごし方

- 月～木曜:9 時から 14 時半まで学校。帰宅するかジムへ
- 金曜:9 時から 10 時半まで学校。その後は友達と遊びに行く
- 土・日曜:友達と遊ぶ

一番の息抜きは、ジムに行くこととサッカーをすることでした。日本の家族や友達とは、月数回テキストで連絡をとっていました。

■ 街と治安

キャンパスはとてもきれいで、ジムやコンビニ、グッズストア、学食などの設備も充実していて、とても過ごしやすいです。ダウンタウンが歩いて行ける距離にあり、そのほかにも周りに動物園やミュージアムがたくさんあって、とても楽しめます。治安は基本的には安全で、事件なども聞きませんでした。

おすすめスポットは、大学からバスで行けるところにあるチルドレンズ・ミュージアムで、とても面白かったです。私は行きませんでした。動物園もおすすめです。

■ 交友関係

語学学校のみならず学校終わりに遊びに行ったり、仲のいい数人で放課後にご飯を食べたりしました。それぞれの文化があると思うので、あまり神経質にならないようにし、何かあっても「日本人じゃないしな」と思うようにしました。特に宗教関連には気を使いました。

基本的にみんなフレンドリーで話しかけてきてくれるので、その時に明るく接したり、自分からも話しかけるようにしました。また、名前はなるべく早く覚えるようにしました。

5. 課外活動とイベント

ナイトパーティーやインターナショナルフェスティバル、ハロウィンパーティー、サンクスギビングパーティーなどに参加しました。どれもアメリカンな雰囲気のパartyで、とても楽しかったです。留学生活の中で最も良い思い出は、学校であったハロウィンパーティーです。

学校はスポーツが盛んで、低価格でとても設備の良いジムを使えるので、スポーツが好きな人にはとてもいいです。また、アメフトや NBA のチームがあるので、そういったものに興味がある人にもとてもいいと思います。

6. 費用と持ち物

項目	内容
生活費(月のお小遣い)	約 10 万円
通学費	約 30 ドル／月(バス)
持ってくれば良かった物	運動着、傘
持ってこなくても良かった物	消耗品
持っていて便利だった物	サンダル、洗濯ネット

7. 留学を終えて

留学を通して、英語を話すことが怖くなくなりました。留学先の国や大学については、思っていたよりもいろいろな面で自由だったという点で、出発前とイメージが変わりました。

大変だった思い出は、最初のセッションが終わった後に体調を崩したことです。それでも、とても良い楽しい思い出を作ることができ、留学に行って本当に良かったと思います。現地の人と一緒に暮らしたり関わったりしたことで、新たな文化や価値観を知ることができ、視野が広まったと思います。日本は改めて良い国だとも思いました。しかし、アメリカの自由な感じもとても好きなので、またいつかアメリカで暮らしてみたいです。

これからは、日本に帰った後も英語の勉強を続けて、それが生かせるような職に就きたいと考えています。

JSAF には出国までしっかりとサポートしていただいたおかげで、あまり不安もなく出国することができ、出国後も何も問題なく過ごすことができました。紹介していただいた留学先も自分にぴったりだったため、とても楽しい充実した留学生活を送ることができました。

8. 後輩へのメッセージ

「行ったら何とかなるのであまり心配しないでください。ただ、現地の人とたくさん関わりたい場合は、リスニングの練習だけはしっかりとっていったほうが良いです。」

本体験記は、JSAF 派遣生による FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです。